

The English Edu. Newsletter VOL.1

滋賀県教育委員会事務局 高校教育課・幼小中教育課 令和5年5月

令和5年度がスタートし、1カ月が経ちました。外国語教育においては、「言語活動を通じた指導」を系統的・継続的に校種を越えて行うことで、英語でコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指します。そのため、小・中・高等学校における学びの接続が重要になります。

今年度もNewsletterを通して、県内の外国語教育に関する各種事業や授業実践を紹介します。このNewsletterが県内小・中・高等学校の外国語教育をつなぐ架け橋になることを願っています。

小学校英語パイオニア実践プロジェクト

<英語専科指導教員>
全19市町、57名
年間840時間（35週で週当たり24コマ以上）

4月20日(木)に「小学校英語パイオニア実践プロジェクト」実施校連絡協議会を開催しました。事業説明の後、グループ協議を行いました。参加された英語専科指導教員や市町担当者による活発な交流では、授業実践や普及のための取組について様々な気付きがありました。

「小学校英語パイオニア実践プロジェクト」の事業内容と授業のポイントおよびグループ協議の様子をお伝えします。

目的

小学校英語専科指導教員をプロジェクト実施校に配置することで、小学校学習指導要領に対応した、質の高い外国語の授業を研究実践し、その成果を普及する。

公開授業および授業研究会

・モデルとなる授業の公開

所属学校をはじめ、市町内の小学校および義務教育学校(前期課程)に授業を公開等することを通して、プロジェクト実施校の校内研修の活性化と在籍市町の小学校教員の指導力向上および小中連携の推進に取り組みます。



・研究実践成果の普及



市町の小中の教科主任研修会を兼ねるなど、中学校および義務教育学校(後期課程)の教員にも参加を促し、小中連携推進のための拠点校として、研究成果を市町内に普及します。

学習指導要領における授業のポイント



5つのポイントを心掛けよう。



No.1	「外国語を使って何ができるようになるか」という目標を指導計画に生かしていますか？
No.2	目的や場面、状況の設定が明確な言語活動を単元のゴールとして子どもと共有し、見通しをもって言語材料の習得を目指していますか？
No.3	3つの資質・能力をバランスよく育成する「言語活動」を通じた指導に取り組んでいますか？
No.4	小学校外国語活動⇒小学校外国語科⇒中学校外国語科の円滑な接続を進めていますか？
No.5	ICTの活用が言語活動の充実につながっていますか？

小中連携の推進(裏面を見てね。)



小中連携の推進



小学校外国語活動⇒小学校外国語科⇒中学校外国語科の円滑な接続を進めていますか？



小中連携の内容

- ・情報交換
授業参観、年間指導計画の交換等
- ・交流
指導方法等についての検討会、
授業参観後の研究協議会等
- ・小中連携したカリキュラム作成

小学校学習指導要領及び解説から読み取る 小中連携

小学校中学年から外国語活動を導入し、「聞くこと」、「話すこと」を中心とした活動を通じて外国語に慣れ親しみ、外国語学習への動機付けを高めた上で、高学年から発達の段階に応じて段階的に文字を「読むこと」、「書くこと」を加えて総合的・系統的に扱う教科学習を行うとともに、**中学校への接続を図ることを重視**することとしている。

小中連携のポイント 指導法の継続性

- ・「共通点」と「相違点」を理解する
「外国語による見方・考え方を働かせ」
「言語活動を通して」
- ・「読むこと」「書くこと」にギャップがある。
中学校では、生徒が文法事項に気付き、その有用性を実感し、コミュニケーションを図る。
- ・小学校教員は、次のことを中学校英語科教員に伝える。
言語材料・活動・教材

- ①目標の一貫性
- ②学習内容の系統性
- ③指導方法の継続性

言語活動でつなぐ

CAN-DOリストでつなぐ

「パイオニア」の公開授業および授業研究会を小中連携推進の機会にしてくださいね。



新滋賀県モデル「CAN-DOリスト(令和4年度改訂版)」は滋賀県教育委員会のホームページに掲載中です。

グループ協議のテーマと感想等(一部抜粋)



<専科教員として、授業づくりや評価等において今年度取り組みたいこと>

- ・本年度の「学習指導要領における授業のポイント5点」を念頭に、1年間授業作りを行っていきたいと思いました。特に、小中接続は、意識的に中学校の先生方と交流し、子どもたちがスムーズに学びを深めていけるよう工夫したいと思います。



<専科教員として、校内で取組を普及するために今年度取り組みたいこと>

- ・今年度は、「普及」をテーマに頑張ろうと思っています。授業を公開することはもちろん、積極的に先生たちと関わって、外国語の指導についてのハードルを下げたいと思います。外国語の楽しさ、魅力について普及していきたいです。



<各市町として、取組を普及するために今年度取り組みたいこと>

- ・他市町の担当の方と、情報共有や意見交換ができて、大変ありがたく勉強になりました。小学校から中学校への連携については、教科部会や小中連携の取組と合わせて進められるという御意見を聞き、本市でも検討していければと思います。小中連携を進め、少しでもなめらかな英語面での接続が実現できればと考えます。事業について、今年度の方針、英語教育、パイオニアプロジェクトの進め方等、詳しく分かりました。
- ・他の市町の担当の方と交流させていただき、専科教員の先生方の取組をどのように普及しているかを聞かせていただけたので、本市でもやっていきたいと考えています。夏の研修等は、市の教育研究所とも相談していけそうだと思います。小中の連携については、互いの授業を参観することが第一歩になると思いますので、市の教科部会と相談していきたいと思っています。

